

令和2年^(※) 県政の軌跡

※令和2年1月1日から令和2年12月31日の間

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績	1 頁
II 新型コロナウイルス感染症対策	2 頁
III 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現	3 頁
IV 新しい県政の運営方法の導入	4 頁
V ひとを育む	
1. 未来を拓く子どもを育てる環境づくり	5 頁
2. みんなが活躍できる社会づくり	6 頁
VI しごとを創る	
1. 県内企業の成長力強化	9 頁
2. 農林水産業の振興	10 頁
3. 観光の振興	14 頁
4. 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展	15 頁
VII いのちを守る	
1. 自然災害への備え	16 頁
2. 医療の充実と健康の維持	17 頁
3. 安全な社会の実現	17 頁
VIII くらしやすさを高める	
1. 快適な生活環境の実現	18 頁
2. 支え合う福祉の充実	18 頁
IX 地域を創る	
1. 活力と魅力のあるまちづくり	20 頁
2. 地域をつなぐネットワーク	21 頁
○平成18年12月以降の本県への企業立地動向	22 頁

I 県民と親しみ、県外に進攻した活動実績

	1期目	2期目	3期目	4期目	
				就任13年目	就任14年目
	(H18.12.19～ H22.11.30)	(H22.12.1～ H26.11.30)	(H26.12.1～ H30.11.30)	(H30.12.1～ R元.11.30)	(R元.12.1～ R2.11.30)
○県内から県庁を訪問 して下さったお客様	860 グループ	811 グループ	1331 グループ	155 グループ	121 グループ
○県外から県庁を訪問 して下さったお客様	469 グループ	371 グループ	649 グループ	118 グループ	61 グループ
・国機関関係	101 グループ	100 グループ	174 グループ	22 グループ	25 グループ
・外国関係	52 グループ	60 グループ	103 グループ	22 グループ	7 グループ
○式典・大会出席挨拶	1170 回	1355 回	2444 回	316 回	146 回
○講演・シンポジウム	114 回	125 回	220 回	28 回	6 回
○県内各地への 出張回数	404 回	465 回	804 回	56 回	21 回
○県外各地への 出張回数	263 回	251 回	433 回	58 回	44 回
・東京	102 回	93 回	158 回	29 回	25 回
・大阪	95 回	100 回	176 回	18 回	14 回
・他府県 (東京、大阪除く)	62 回	58 回	99 回	11 回	5 回
○海外への出張回数	6 回	10 回	18 回	3 回	0 回
	(中国、スペイン、イタリ ア・フランス、ブラジル・ペ ルー、トルコ、中国)	(中国、アメリカ、香港・シンガ ポール、デンマーク・スペイン、 タイ・オーストラリア、香港、イン ド、ブラジル、アメリカ、香港)	(インド・ベトナム、アメリカ・メキシコ・カナ ダ、イタリア、トルコ・スペイン、イタリア、イ ンドネシア・香港、マレーシア・中国、オー 克蘭ド、台湾、ブラジル・アルゼンチン、 中国、香港・インド、韓国・中国)	(スペイン、シンガポール・タ イ・香港、中国)	—
○公用車の 走行距離	96,110 Km	104,240 Km	183,107 Km	20,638 Km	12,010 Km
○県内企業訪問	63 回	23 回	41 回	4 回	4 回
○国の要人との政策 議論・要望	173 項目 234 回	175 項目 254 回	305 項目 419 回	59 項目 52 回	54 項目 10 回
○企業首脳トップ セールス	158 回	160 回	282 回	38 回	23 回

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症対策

○対策本部

2月13日 県内で初めての感染者を確認

和歌山県新型コロナウイルス感染症対策本部を設置、以降、随時会議を開催
適宜「感染拡大防止に向けた県民の皆様へのお願い」を发出
業種ごとの感染拡大予防ガイドラインの周知、遵守の徹底

○保健医療行政

2月13日 県民からの専用電話相談窓口(健康相談)専用回線の開設

随時 保健医療行政の充実

感染拡大の防止＝「行政の努力」＋「県民の努力」

まずは保健医療行政の頑張り

・早期発見、早期隔離、徹底した行動履歴の調査

・保健所の統合ネットワークシステム

PCR等検査体制の充実 当初40検体/日 → 3800検体/日

病床数の確保 当初32床 → ピーク時400床

4月8日 帰国者・帰省者・転勤者連絡ダイヤルの運用開始

5月1日 新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者を支援するため、宿泊施設の利用料を負担する事業を開始

○行動の自粛

3月2日 政府からの要請を受け、県立学校を一斉臨時休業

4月8日 4月7日に政府が発出した7都府県に対する緊急事態宣言を受け、県民に対し7都府県への往来自粛を依頼
緊急事態宣言に関する専用ダイヤルの開設

4月17日 4月16日に政府が緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大したことを受け、県民に対し県外との往来自粛などを依頼

4月23日 ゴールデンウィーク中の帰省の自粛を依頼
休業要請等に関する専門ダイヤル開設

4月25日 県内事業者に対し、営業自体の自粛を要請
遊興施設、劇場等、集会・展示施設、運動・遊技施設、文教施設、大学・学習塾等、博物館等、ホテル又は旅館(集会の用に供する部分に限る。)、商業施設

5月4日 緊急事態宣言を5月31日まで延長

5月25日 緊急事態宣言の全面解除に伴い、県民への依頼を不要不急の外出自粛から、「安全な生活」「安全な外出」に変更

6月1日 県立学校の再開

○様々な支援策

- 2月1日 新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客等が減少するなど、売上等に影響がある県内中小企業者への支援として、経営支援資金(一般枠)の対象要件を緩和
- 3月25日 和歌山県社会福祉協議会において、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金(生活支援費))の特例貸付を実施
- 4月20日 休業等に伴う収入減少により、離職等と同程度の状況に至り、住居を失った方、又は住居を失うおそれが生じている方を支援するため、住居確保給付金の支給対象を拡大
- 4月27日 新型コロナウイルス感染症の影響による操業停止や魚価低下等により、漁業経営に影響を受けている又はその恐れがある漁業者等に対し、借入資金への利子補給等により資金繰りを支援
- 4月28日 新型コロナウイルス感染症により困窮している方々に対する支援を行うため、副知事を本部長とした支援本部を設置(支援本部は総合支援窓口と支援策検討チームで構成)
- 5月1日 新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少した中小企業者に対する資金繰り支援のため、3年間無利子・無担保・全期間保証料減免の「経営支援資金(新型コロナウイルス感染症対応枠)」を創設
- 同日 事業継続支援金、県内事業者事業継続推進補助金など、独自の支援策を発表
以降、国の第2次補正予算も活用しながら事業継続支援金の予算増額や家賃支援などの新たな支援策を創設
- 同日 新型コロナウイルス感染症の影響で経営の維持安定が困難となった農業者に対し、農協の「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」への利子補給等により資金繰りを支援
- 7月8日 県民が県内宿泊施設等を利用する際、宿泊費等を一部割引する「わかやまりフレッシュプラン」を販売開始
- 12月24日 新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等が行われない社会を実現するため、「新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等対策に関する条例」を施行

Ⅲ 談合システムからの訣別と清潔な県政の実現

○入札制度の見直し

1. 舗装工事における総合評価落札方式適用範囲の拡大(6月)
適用範囲を予定価格(税抜き)3,000万円以上の工事から1,500万円以上の工事に拡大
2. 委託業務における低入札価格調査制度適用範囲の拡大(6月)
予定価格(税抜き)3,000万円以上の全ての委託業務に、新たに調査基準価格を設定し、これを下回った場合は低入札価格調査を実施。更に特別重点調査価格を設定し、これを下回った場合はより厳格な調査を実施
 - ・ 調査基準価格 : 予定価格の77%~83%程度
 - ・ 特別重点調査基準価格 : 予定価格の70%
3. 入札成立要件の変更(6月)
予定価格(税込み)5億円未満の入札成立要件を有効な入札書提出者数2者以上から1者以上に変更

IV 新しい県政の運営方法の導入

○ 「中期行財政経営プラン」に基づく行財政改革の取組

- ・ 事務事業の一層の見直し ▲7.5億円
- ・ RPA(ソフトウェア上のロボットによる業務の自動化)、AI-OCR(人工知能を活用した光学式文字読取装置)、議事録作成支援システム、モバイル専用行政事務用パソコンなどICTの活用による事務の効率化

○ 組織改正(4月)

- ・ 紀の国わかやま文化祭開催に向けた体制強化

紀の国わかやま文化祭2021(第36回国民文化祭及び第21回全国障害者芸術・文化祭)の開催準備を着実に推進するため、紀の国わかやま文化祭担当の参事を配置し、1室体制から1局2課体制に拡充

- ・ 振興局健康福祉部の体制強化

多様化する福祉・保健サービスについて、より適確に対応するため、総務健康安全課と保健福祉課を、総務福祉課と保健課に再編

- ・ 情報発信力やICT推進体制の強化

インターネット等を活用した情報発信力や、ICTを活用した業務の効率化の推進を強化するため、企画部に参事を配置

- ・ 医療安全体制の強化

医療事故の防止と医療の安全性の確保を推進するため、和歌山県立こころの医療センターに医療安全推進担当の主幹を配置

○ 人事異動(4月～)

- ・ 中央省庁等への派遣を推進 7省6庁等に26人
- ・ 外国等への研修派遣を推進 5団体に8人
- ・ 都道府県等との交流を推進 京都府、兵庫県、鳥取県、関西広域連合に8人
- ・ 民間等との交流を推進 9団体に10人
- ・ 県内市町村等との人事交流を推進 7市町等に16人
- ・ 大学院等への研修派遣を推進 9人
- ・ 災害復旧応援(大分県・熊本県・熊本県人吉市) 6人
- ・ 就職氷河期世代、UIターン型職務経験者を対象とした採用試験を実施

○ 和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定(3月)

既存の総合戦略の計画期間が終了することから、和歌山県長期総合計画の行動計画として、これまでの取組の成果・課題を踏まえ、新たに展開すべき取組を盛り込んだ内容に改定

○ 和歌山県国土強靱化計画の改定(3月)

既存計画の5年間の推進期間が終了することから、現行の構成を基本とし、これまで積み重ねてきた施策に加え、近年の災害から得られた教訓を踏まえて、新たに展開すべき施策等を盛り込んだ計画に改定

○ 令和3年度国の施策及び予算に関する和歌山県の提案・要望(7月)

県の重点施策を推進する上で必要となる予算の確保や制度の創設・拡充に向け、関係省庁に対して提案・要望活動を実施(提案・要望先:内閣府・内閣官房、総務省、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、防衛省、消費者庁、警察庁、観光庁)

○ 新政策にかかる市町村長懇談会(10月)

「令和3年度新政策と予算編成の方針」を提示し、市町村長と意見交換を行うことを目的に、紀北・紀南地域でそれぞれ開催

○ 関西広域連合の広域連合長に仁坂知事が就任(12月)

V ひとを育む

1. 未来を拓く子どもを育てる環境づくり

① 子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり

○ 夏の子供を守る運動(7月～8月)

関係機関、団体、地域社会が一体となり、県民総ぐるみで夏期の青少年の非行防止、健全育成、有害環境の浄化、犯罪被害防止、水の事故・交通事故の防止を図り、すべての青少年が「明るく・正しく・たくましく」育つことを目的とした取組を実施

○ 訪問型家庭教育支援推進事業シンポジウム(8月)

学校・家庭・地域全体で子供たちをはぐくむための機運を高め、地域における家庭教育の充実と今後の支援体制の構築につなげるため、シンポジウムを開催(参加145人)

○ 子供・若者育成支援県民大会(10月)

「子供・若者育成支援強調月間」行事の一環として、子供・若者を正しく心豊かに育成する気運を醸成するため、紀の川市で開催(参加208人)

○ 子育て支援情報の検索システムを開始(12月)

県と県内全市町村とが共同し、子育て支援情報を検索できるチャットボットシステムを搭載したLINE公式アカウント「きいちゃんの子育て応援広場」をオープン

○ ひとり親家庭相談体制強化

ひとり親家庭の孤立化を防止し、必要な支援に繋げるため、支援員によるひとり親家庭への訪問を開始(11月～)

○ わかやま結婚・子育て応援企業同盟の推進

同盟への企業等の参加を促進するとともに、セミナーの開催等により好取組事例を参加企業に横展開するなど、仕事と子育てが両立しやすい社会の実現を促進(553企業・団体が参加済み)

○ きのくにコミュニティスクール

地域から学校、学校から地域への互いの要請に応え、学校と地域をつなぐ「きのくに教育コミュニティスクール」を推進(県内公立学校392校のうち387校(98.7%)で導入済み)

② 子どもたち一人一人が志高く未来を創り出す力を育む教育の推進

○ きのくにICTプログラミングコンテスト Switch Up WAKAYAMA 2019(2月)

全国に先駆けて開始した「きのくにICT教育」と歩調を合わせ、児童生徒が課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に取り組みながらアイデアと技術を競うコンテストを初めて開催(来場者146人)

○ 第45回全国高等学校総合文化祭第2回和歌山県実行委員会(書面開催)(5月)

令和3年度に和歌山県で開催する第45回全国高等学校総合文化祭を円滑に実施するため実行委員会を書面にて開催

○ 世界との対話と協働:アジア・オセアニア高校生フォーラム(7月)

アジア・オセアニアの国・地域の高校生と本県の高校生が、世界共通の諸課題について意見交換(ウェブ会議ツールを利用)し、国際社会で活躍できるリーダーを育成(国内外あわせて35校44名が参加)

○ 第6期きのくに教育審議会「これからの県立高等学校の在り方について」答申(8月)

同審議会が、本県高等学校教育の本質的な課題と、今後15年のさらなる生徒減少を踏まえ、県立高等学校の進むべき方向性を示した答申を取りまとめ

- 第9回わかやま高校生クイズ in English(9月)
 広く世界で活躍できる人材を育成するため、高校生等を対象に、英語に関する知識や和歌山県・日本・世界の事柄について、幅広く英語で質問するクイズ大会を実施(158名参加)
- 第9回和歌山県高校生英語ディベート大会(10月)
 英語の学習成果を発表する機会を提供し、物事を多角的な視点からとらえる態度を育成するとともに、ディベート活動を通して英語コミュニケーション能力の向上を図ることを目的に開催(参加20人)
- 第45回全国高等学校総合文化祭300日前大会PRイベント(10月)
 令和3年度に開催する第45回全国高等学校総合文化祭を広く県民にPRするとともに、芸術文化活動に励む高校生に発表の機会を提供
- 第45回全国高等学校総合文化祭プレ大会開会行事(総合開会式・パレード)(10月)
 令和3年度に開催する第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)を周知するとともに、本大会開催の気運醸成を図るため実施
 総合開会式:和歌山県民文化会館 パレード:けやき大通り
- きのくに科学オリンピック(11月)
 科学に関心のある高校生が切磋琢磨する場を設け、科学や理数系分野への学習意欲の向上を図り、科学技術の発展を担う人材を育成することを目的に開催(参加91人)
- 第2回クイズ大会「挑戦！わかやまの歴史」(1月)
 歴史や文化財に興味を持つ子供たちが、さらに知識を深め、将来郷土の歴史を伝えるリーダーとして活躍できる人材を育成するため、和歌山県の歴史や文化財等に関するクイズ大会を開催
 参加者:29校、50チーム、142人

2. みんなが活躍できる社会づくり

① 誰もが働きやすく、多様な人生を楽しめる社会づくり

- わかやまテレワークフェア ～先輩ワーカーとの交流会～ (7月)
 過去のフェア参加者をはじめ、クラウドソーシングを利用した在宅就労に興味のある方を対象として、先輩ワーカーの体験談等を紹介する交流会を開催(参加87人)
- テレワーク活用術セミナー(9月)
 県内の中小企業を対象に、テレワークの導入促進を図るためのセミナーをWeb上で5回開催(参加延べ224人)
- 女性活躍企業同盟の推進
 女性が継続して働き活躍できる環境を整備し、その能力を十分に発揮できることを目的に結成した「女性活躍企業同盟」への企業等の参加を促進(577企業・団体が参加)

② 共に支えあう地域社会づくり

- 日本ベトナム文化経済観光交流団のベトナム訪問、紀の川市とベトナムクアンナム省の協力覚書締結(1月)
 二階俊博日越友好議員連盟会長・自由民主党幹事長のイニシアティブにより、日本ベトナム文化経済観光交流団がベトナムを訪問(参加者約1,000名のうち本県約200名)、紀の川市がクアンナム省と友好協力関係の構築に関する覚書を締結
- ベトナム高校生派遣(1月)
 外務省青少年交流事業「対日理解促進交流プログラムJENESYS2019」の一環として、和歌山県の高校生21名(6校(内訳:橋本、粉河、日高、神島、熊野、新宮))をベトナムへ派遣

○ 中国四川省との覚書締結(3月)

和歌山県と中国四川省の友好交流関係発展に係る覚書を締結
交流分野:観光、防災・減災、青少年、医療、教育、経済等

○ 和歌山県地域福祉推進計画の改定(3月)

分野を超えた支援機関が連携する支援体制や多様な地域福祉の担い手確保、また地域の支えあい活動を促進していくため、和歌山県地域福祉推進計画を改定

○ 令和2年7月豪雨災害義援金募集(7月)

令和2年7月豪雨により被災された方々を支援するため、義援金の募集を実施

○ トルコ西部イズミル県における地震災害に対する義援金募集(11月)

10月30日に発生したトルコ西部イズミル県南部のエーゲ海を震源地とする地震を受けて、和歌山県及び県内30市町村が一体となって義援金の募集を実施

③ 健康で心豊かにすごせる社会づくり

○ 第73回和歌山県美術展覧会(1月)

洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑・華道の7部門からなる県内最大の公募による美術展覧会を開催(展示数439点)

○ 第5回和歌山県ジュニア美術展覧会(1月)

県主催の小学生・中学生(特別支援学校を含む)を対象とした公募型の展覧会を開催(展示数562点)

○ 令和元年度和歌山県文化表彰式(1月)

文化の向上発展に特に顕著な功績のある方々を表彰
文化賞:酒井敏行 文化功労賞:石黒 晶、林 雅彦、宮本勝浩 文化奨励賞:小柳 裕

○ 第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会(2月)

スポーツ振興と青少年の健全育成を図るとともに、県及び市町村の活性化を目的に開催

○ 広報キャラバン隊から知事への活動開始にかかる決意表明と出発式及び「紀の国わかやま文化祭2021スペシャルインフルエンサー」就任に係る委嘱式(8月)

広報キャラバン隊長のお笑いコンビ「すみたに」から知事へ決意表明、県出身で情報発信力の高い本谷紗己さん、声優「中島由貴」さんへのスペシャルインフルエンサー委嘱式実施

○ 「紀ららアート展」(11月～12月)

県内在住の障害のある人または障害のある人を含むグループによる絵画等の作品展を開催(紀北展、紀南展、WEB展)

○ 令和2年度和歌山県文化表彰式(11月)

文化の向上発展に特に顕著な功績のある方々を表彰
文化賞:神崎亮平 文化功労賞:尾崎斎晃、小山譽城
文化奨励賞:尾上菊透、辻本好美、中谷政文、熊野速玉大社祭事保存会

○ 和歌山県民文化会館開館50周年記念コンサート(11月)

和歌山県を代表するアーティストを迎え、オーケストラと共演
演奏:澤 和樹ほか 楽団:日本センチュリー交響楽団

④ 人権尊重社会の実現

○ 講演会「企業における人権」(1月)

県内企業等に対して、企業の社会的責任としての人権尊重の理念を普及させ、人権意識の涵養を図ることを目的として講演会を開催(47人が参加)

- 「インターネットと人権」シンポジウム、公開講座(2月)
 - インターネット上の人権侵害を防止するため、県民に対しインターネット上の問題点や正しい使い方について理解を深めることを目的として開催(シンポジウムには280人が参加)
- 和歌山県人権施策基本方針の第三次改定(3月)
 - 女性や子供、高齢者、障害のある人等に対する人権侵害や同和問題など様々な課題に対応を行うため、また、これまでの取組の成果や新たな法令・計画などの動きを踏まえ、改定
- 部落差別の解消の推進に関する条例の施行(3月)
 - 今もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別のない社会を実現することを目的とした条例を施行
- 「人権感覚を育てよう」プログラム講師養成セミナー(8月)
 - 人権を尊重できる子供を育てることを目的とした幼児向け人権啓発プログラム「人権感覚を育てよう」プログラムを保育所や幼稚園等で実施できるファシリテータを養成(6人が参加)
- 人権・発見・体験教室「ポッチャにチャレンジ」(10月)
 - パラスポーツへの関心を深めるとともに障害のある人の人権を正しく理解することを目的に開催(22人が参加)
- 同和運動推進月間(11月)
 - 同和問題について正しい理解と認識を深め、一日も早い解決を図るため、11月を同和運動推進月間として、広報紙による啓発や講演会など様々な取組を実施
- 人権を考える強調月間(11月～12月)
 - 11月11日から12月10日までを「人権を考える強調月間」として、広報紙による啓発や特別講演会など様々な取組を実施
- 部落差別の解消の推進に関する条例の一部改正(12月)
 - インターネットを利用した部落差別の解消の推進を図るため、特定電気通信役務提供者の責務を規定するとともに、部落差別への取組などの所要の改正を実施
- 「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」新規締結(12月)
 - 県内の企業、NPO等の団体と県が協働して人権啓発活動を積極的に展開するため、「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結(21企業・団体と新規に締結)

VI しごとを創る

1. 県内企業の成長力強化

① 中小企業の競争力強化

○ 下請取引適正化シンポジウム(1月)

県内下請中小企業者の取引適正化に向け、国と共催により、下請関連法の基調講演や企業の取組事例等のパネルディスカッション等を開催(来場者約180名)

○ 「第24回機械要素技術展」への集団出展(2月)

県内中小企業の販路開拓のきっかけとするため、軸受・ベアリング・ねじ・ばねなどの機械要素や、金属・樹脂に関する加工技術を一堂に集めた技術展に集団出展(10社出展)

○ 第12回プレミア和歌山推奨品発表内覧会(2月)

安全・安心を基本に、幅広い分野の優れた県産品等を“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で推奨する県優良県産品『プレミア和歌山』推奨制度の認定品発表会を実施(73品目67事業者を認定)

○ わかやま産品魅力再発見フェア(2月)

県産品のブランド力向上と販路拡大のため、百貨店と県内事業者が協働しフェアを開催
食品:日本橋三越本店(出店11社) 非食品:銀座三越(出店7社)

○ 第90回東京インターナショナルギフトショー秋2020(10月)

県内中小企業の優れた製品や技術力をPRし販路開拓のきっかけとすべく、パーソナルギフトや生活雑貨の国際見本市に集団出展(参加事業者4社)

○ 「第23回関西機械要素技術展」への集団出展(10月)

県内中小企業の販路開拓のきっかけとするため、軸受・ベアリング・ねじ・ばねなどの機械要素や、金属・樹脂に関する加工技術を一堂に集めた技術点に集団出展(通常出展14社、カタログ出展8社)

② 新たな産業の創出

○ 第8期わかやま塾の開講(7月)

将来の和歌山県を支え、世界にはばたくグローバル人材の育成を目的に、50歳未満の県内企業の経営者等57名を対象にした「第8期わかやま塾」を開講(全9回開催)

○ IT企業誘致にかかる人材確保の奨励金を創設(7月)

IT企業誘致のため、県内のオフィスで勤務する人材を確保するための経費にかかる奨励金を新たに創設

○ わかやま水素エネルギーセミナー(9月)

水素エネルギーの理解醸成を図るため、水素エネルギーに関する解説と、水素社会の意義や水素エネルギーの身近な利活用事例を打を紹介するオンラインセミナーを開催(参加84人)

○ わかやま起業塾(10月～12月)

起業に必要な知識・ノウハウを体系的に学びながら、事業計画書の作成に繋げるワークショップ主体の講座を開講(毎週土曜日 計8回)

○ 大規模オフィス移転・多数移住奨励金を創設(10月)

コロナ禍を契機としたリモートワークの普及を背景にした企業の地方分散の動きを捉え、100名以上の移住を伴う企業のオフィス移転を対象とした奨励金を創設

- オンラインフォーラム「withコロナ時代の働き方へ～和歌山県におけるサテライトオフィスとワーケーション～」の開催(10月)

昨年度、東京で開催したICT企業誘致フォーラムを、今年度はオンラインで開催。コロナ禍の経験を踏まえた新しい働き方を提案することをコンセプトとして、サテライトオフィスの提案に加え、ワーケーションの提案、また既に白浜でサテライトオフィスを開設している進出企業の経験談も紹介

- 新ITビジネスオフィス「ANCHOR」オープン(11月)

IT企業の誘致と集積を図るため、県と白浜町の補助により、オーエス株が新たに整備した新ITビジネスオフィス「ANCHOR」が11月1日にオープン

- 企業誘致の推進

令和2年1月以降新たに17社の企業立地が決定(※24頁参照)

③ 産業を支える人材の育成・確保

- 京都女子大学と就職支援協定を締結(2月)

県内産業の次代を担う人材の確保を図るため、京都女子大学と就職支援に関する協定を締結(締結は12大学目、女子大学とは初めて)

- 就活アプリ「UIわかやま就職ガイド」配信開始(3月)

県出身の大学新4年生及び新3年生、短大生等や県内の当該学年の大学生等に配布している「UIわかやま就職ガイド」の掲載情報を“和歌山県版就活アプリ”で配信し就職活動を応援

- Uターンフェア(5月～8月)

令和3年3月卒業予定の新卒予定者と一般求職者を対象に、県内就職及び企業の人材確保を支援するため、合同企業説明会を開催(参加者258人、WEB説明会も開催)

- 紀の国Web就職フェア(6月、8月)

製造業・情報通信業等に携わる企業への就職を希望する者を対象に、県内就職及び企業の人材確保を支援するため、Web上での合同企業説明会と就職セミナーを同時開催(参加延べ185人)

- 就職フェア(10月～)

令和3年3月卒業予定の新卒予定者と一般求職者を対象に、県内就職及び企業の人材確保を支援するため、合同企業説明会を県内各地で開催

- 高校生のための合同企業説明会(11月)

令和3年3月卒業予定の新卒予定者を対象に、県内就職及び企業の人材確保を支援するため、合同企業説明会を開催(参加:和歌山会場52人、田辺会場24人)

- 未内定の大学生等を対象とした合同企業説明会(11月)

令和3年3月卒業予定の大学生等を対象に、内定切りなど就職活動に苦戦をしている学生を支援するため、県外で合同企業説明会を開催(参加者55人(Webによる参加者含む))

- 若者の県内就職・定着の促進

高校生・大学生のためのわかやま就職ガイドによるPR、高校生向け企業説明会の開催、大学との就職支援協定の推進等により、若者の県内就職を促進(令和2年3月卒業の高校生の県内就職率:76.7%)

2. 農林水産業の振興

① 農業の振興

- 県産日本酒 30 種の「日本酒マッピング図」を作成(3月)

「和歌山県の日本酒」の魅力をPR するため、県内 13事業者が製造する 30 種の日本酒について、純米大吟醸酒・純米吟醸酒・純米酒を辛口～甘口、濃醇～淡麗に分類し、それぞれの特徴をわかりやすく示した「日本酒マッピング図」を作成

- 「おうちで和歌山」特設サイトの開設(5月)

新型コロナウイルス感染症の影響により、不要不急の外出自粛が続いている中で、自宅で和歌山のおいしいものを食べて楽しく過ごせるよう、「おうちで和歌山」特設サイトを開設し、和歌山ゆかりの有名人から届いた、自粛生活を続ける方々を励ます応援メッセージ動画や、県産食材を使った料理動画、県産食材の機能性情報などを掲載
- 豚等への豚熱予防的ワクチンの接種(6月)

ワクチン接種プログラムで定めた接種計画に基づき、県の家畜防疫員等が県内の養豚農場等に立ち入り、ワクチンを接種
- 辛味果実が発生しないししとうがらし 新品種「ししわかまる」を開発(6月)

県農業試験場暖地園芸センターと京都教育大学との共同研究により、辛味果実が発生しないししとうがらし新品種「ししわかまる」を開発
- スマート農業実践塾(8月～)

果樹農業ではドローン、リモコン式草刈機、アシストスーツ等の操作講習や技術的な講義を、施設園芸では植物生理から環境制御技術までを体系的に解説する講義を実施
- わかやま農業MBA塾(8月～)

農業経営者として必要な能力の修得を目指す農業経営塾を運営し、地域農業をけん引する強い経営体を育成(10人が受講)
- みかん厳選出荷6年目スタート(9月)

温州みかんの市場評価を高めるため、JAグループと連携し、糖度選別が可能な光センサー選果機を利用して厳選したみかんを市場に出荷する取組を推進(令和2年度から国の加工・業務用果実安定供給連携体制構築事業を活用)
- 「和歌山梅酒」が酒類の地理的表示(GI)に指定(9月)

地域で長年育まれた伝統と特性を有し、その品質等の特性が生産地と結びついている食品の名称を知的財産として保護する制度において「和歌山梅酒」が指定
- 6次産業化人材育成研修会(10月)

6次産業化に取り組むまたは取り組もうとしている農林漁業者を対象とした研修会を開催(出席者32名)
- 香港「和歌山県産かき・みかんフェア」(10月)

香港での県産果実のブランド向上及び輸出拡大のため、日本食取扱スーパーYATA(5店舗)、YATA百貨(2店舗)でフェアを開催
- 県育成甘柿新品種「紀州てまり」の初集荷・初売りフェア(10月)

平成31年4月に品種登録された県育成の甘柿新品種「紀州てまり」について、本年初めて集荷を実施。果実について糖度などの基準により厳選し、伊勢丹新宿店にて初売りフェアを開催
- 豚熱感染野生いのししの確認(10月～12月)

紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、有田川町、海南市で捕獲された野生いのししについて、検査を行ったところ豚熱の感染が19例確認
- わかやまスマート農業フェア(11月)

企業による施設園芸用環境制御機器やドローンなど、ICTやロボット技術等を活用した製品の紹介及び展示、並びにスマート農業の実践に関する講演を行うフェアを開催
- 「鳥獣被害防止に向けた集中捕獲キャンペーン」和歌山県決起集会(12月)

農林水産省と環境省で推進する「鳥獣被害防止に向けた集中捕獲キャンペーン」に関し、和歌山県でも、より一層の捕獲を推進するため、関係者が一堂に会した決起集会を開催

- 高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫措置（12月）
紀の川市の採卵鶏農場で高病原性鳥インフルエンザが発生、自衛隊の応援を含め延べ1,940名を動員し防疫措置を実施
 - わかやまジビエフェスタ2019-2020（12月～）
県内で獲れた野生イノシシ、シカ肉をジビエ料理として楽しむイベントを、参加飲食店・宿泊施設（64店舗）において開催
 - 海外や全国の展示会等への出展を支援、県産品をPRし、販路開拓・販売促進
1月：ふるさと祭り東京2020（12業者参加、来場者443,237人）、2月：第54回スーパーマーケット・トレードショー2020（23業者参加、来場者80,428人）、9月：ダイエット&ビューティーフェア2020（6業者参加、来場者12,805人）、9月：全国食の逸品EXPO（13業者参加、来場者16,014人）
 - 産地と連携したフェア等を開催し、販路開拓・販売促進
3月：資生堂パーラーにて県産まりひめを使ったパフェ提供、7月：和歌山の桃フェア（阪急うめだ本店）、8月：資生堂パーラーにて県産いちじくを使ったパフェ提供
 - わかやま農産物安心プラス
生産者の行う安全管理の充実と生産情報の提供を促し、消費者のより高い安心感につなげていくため、令和2年度は市場流通12事業者34品目（果樹13、野菜20、米1）、直売所等6事業者21品目（果樹7、野菜14）の計画を承認
 - 県内小中学校等への県産農水産物の提供
地産地消の取組、県の伝統的な捕鯨文化及び鳥獣被害の現状への理解促進を図る取組として、県内小中学校等の給食として「みかん」、「魚」、「鯨肉」、「ジビエ」を延べ1,301校に提供
 - 農作物の鳥獣害対策
野生鳥獣による農作物被害を減少させるため、捕獲、防護柵の設置、狩猟者の育成、環境整備を総合的に推進（ニホンジカ：夜間銃猟（59頭）・管理捕獲（1,346頭）、ニホンザル：管理捕獲（111頭））
 - 農作物の病害虫対策
病害虫発生予察情報の提供、防除対策の指導
県内4会場でクビアカツヤカミキリ被害対策研修の開催（8月～9月）
 - 農地流動化の推進
農地中間管理機構と本県独自に各地域に設置した農地活用協議会の一体的な取組を加速させ、平成26年度からの累積で825haの農地を借受・転貸
 - 攻めの農業実践支援事業の創設
協業組織の育成と農業協同組合の営農参画を強力に推進するため、事業計画評価委員会を2回開催して3協業組織・2農協の事業計画を認定するとともに、生産拡大や販売促進、人材育成等の取組を総合的に支援
 - 和歌山版遊休農地リフォーム化支援事業の創設
農地中間管理機構が遊休農地をリフォームし、一団の農地として担い手に貸付、売渡しを行うことにより遊休農地解消を図る取組を支援。令和2年度の解消予定面積は5.1ha（12月末現在）
- ② 林業の振興
- 紀州林業体感セミナー（1月、2月、10月～12月）
移住プロモーション動画やSNS等を効果的に使った広報活動によりPRを行い、紀州林業への関心を高め、和歌山への興味関心を高めるため、体験型セミナーを東京・大阪で開催

- 「森林経営管理制度と森林環境譲与税」講演会(2月)
森林所有者や県民の皆様、森林管理の重要性などについて理解を深めていただくことを目的に開催(164名参加)
- 「わかやまの山村」絵画コンクール(7月)
森林の恵みとそれを支えてきた山村への理解と関心を深めるため、県内の園児、児童、生徒を対象に絵画を募集(応募総数:102校 1,176点)。優秀作品による展示会を開催
- 紀州備長炭「やまづくり塾」(10月、11月)
紀州備長炭原木林の択伐施業による資源循環利用の推進と製炭技術の向上を図るため、県内の製炭関係者を対象に県内各所で開催
- 「緑化功労賞」及び「紀州材ベストユーザー賞」表彰式(11月)
森林及び樹木を守り、または育てる活動について特に顕著な功績があった3団体に緑化功労賞を贈呈するとともに、県外において紀州材を積極的に利用している企業に対し、紀州材ベストユーザー賞(大賞1社)を贈呈
- きのくに伐木チャンピオンシップ(11月)
県内林業従事者の伐木技術の向上及び安全作業に対する意識高揚を図るとともに、紀州林業の魅力を発信し、新規就労希望者の拡大を目的とし開催
- 林業労働災害防止のための研修会(12月)
林業事業体及び市町村担当者等を対象に、伐木作業における労働災害防止のための緊急研修会を開催
- 紀州材や県産木材品を全国にPRする特別市を開催
4月:優良紀州材展(東京中央木材市場)、10月:大紀州材展(千葉県丸宇木材市場)
- 「企業の森」調印式
企業や労働組合などの方々に社会・環境貢献活動の一環として森林の保全に様々なかたちで取り組んでいただく「企業の森」について、新たに2企業が調印
- 「企業の森」森林保全活動
「企業の森」に参加している6企業・団体が植栽、下草刈り、間伐などの森林保全活動を実施
- 和歌山県森林・林業総合戦略の推進
平成29年7月に素材生産量の拡大を図ることを目的に、「和歌山県森林・林業総合戦略」を策定。令和元年の素材生産量は前年に比べ10千m³増の262千m³(対前年比104%)
- ③ 水産業の振興
 - 漁業調査船「きのくに」の竣工式(11月)
旧調査船の老朽化に伴い、より高精度な調査や迅速な情報発信が可能な最新の調査機器を搭載した新船を建造。水温、潮流などの海洋観測や、主要魚種の資源調査、魚群探知による漁況予測を行い、漁業者に情報提供するとともに、メタンハイドレート調査にも活用
- ④ 農林水産業の担い手の育成・確保
 - 和歌山県農業士・林業士・漁業士認定式(2月)
県農林水産業の中核的な担い手、かつ地域振興のリーダーとして活動している農林漁業者を、農業士、林業士、漁業士として認定、知事から認定証を交付
 - 新規漁業就業者の育成
漁業における担い手を育成・確保するため、前年度から研修を継続した5地区5名の内、3名が新規就業するとともに、新たに2町で就業希望者の漁業研修受け入れに必要な体制整備を支援し、4地区で7名が研修を受講

3. 観光の振興

① 和歌山の魅力を磨く

○ 「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業」の公募開始(3月)

和歌山県特定複合観光施設設置運営事業について、募集要項を公表し、事業を実施するIR事業者の公募・選定手続きを開始

○ 「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業」の事業者公募における参加資格審査結果の公表(5月)

「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業」における事業者公募について、参加資格審査の結果を公表

審査通過者: クレアベストニームベンチャーズ(株)、サンティグループホールディングスジャパン(株)

○ 日本遺産認定(6月)

・「葛城修験」ー 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地

・女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～

“修験道はじまりの地”である葛城修験を、修験者や地域の人々が大切に守り伝えてきたことに関するストーリー『「葛城修験」ー 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』と高野山内へ女性の参拝が困難だった時代から現代に至るまで、女性の様々な声を聴き続けている“癒しの地”であることに関するストーリー『女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～』が日本遺産に認定

○ 「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業」提案審査書類等の提出期限延期(10月)

国が新たな基本方針(案)を公表したことを踏まえ、和歌山県特定複合観光施設設置運営事業における公募について、提案審査書類等の提出期限を延期

○ 「和歌山県特定複合観光施設設置運営事業」のスケジュール等を変更(11月)

新しい国の基本方針(案)の内容等を踏まえ、本県における公募のスケジュールを変更するとともに、実施方針(案)及び募集要項等を修正

② 和歌山へ招く

○ 令和元年の外国人宿泊者数が過去最高を記録(3月)

令和元年の和歌山県における外国人宿泊者数が過去最高の501,844人泊を記録

○ 紀伊半島外国人観光客受入推進協議会設立(4月)

高野山・熊野・伊勢エリアを中心とした紀伊半島の周遊・滞在を促進するため、地理に不慣れな外国人観光客が快適に観光できる環境整備および国内外に向けた観光周遊情報の発信を行う協議会を設立

○ 「蘇りの地、わかやま」キャンペーン開始(6月～)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響からの回復を着実なものとするためのキャンペーンを開始。SNS等を活用した情報発信や「わかやまリフレッシュプラン」、テーマ別のスタンプラリー等、県民による県内周遊促進施策を皮切りに、宿泊客に抽選で豪華賞品が当たる「宿泊得々キャンペーン」等を実施

○ ロンリープラネット「ULTIMATE TRAVEL LIST」に熊野古道と高野山が選出(12月)

世界的旅行ガイドブック「ロンリープラネット」による「ULTIMATE TRAVEL LIST」が紹介する『世界の訪れべき観光地トップ500』に熊野古道(第83位(日本国内2位))と高野山(第113位(同5位))が選出

○ スポーツ合宿誘致

1月: サッカーJ2の横浜FC、2月: 女子7人制ラグビー日本代表

③ 和歌山でもてなす

○ 「高野山デジタルパス」実証事業開始(1月)

キャッシュレス対応、人と人との接触の最小限化を図るため、高野山内のバスや観光施設等のチケットの決済・発行・利用がスマートフォン1つで可能となる「高野山デジタルパス」の実証事業を開始

○ 高野・熊野地域通訳案内士〔和歌山県版通訳ガイド〕受講者募集(8月)

第9期生の高野・熊野地域通訳案内士育成研修を募集開始
応募者数:英語49名、中国語14名、フランス語4名

○ 多言語電話通訳・簡易翻訳サービス

急増する外国人観光客とのコミュニケーション向上のため、多言語電話通訳・簡易翻訳サービス(12言語)を継続して実施

○ 和歌山おもてなしトイレ大作戦

県、市町村及び鉄道事業者等の官民が協働して、観光地における公衆トイレを整備(洋式トイレを導入し温水洗浄便座を設置、男性用小便器の自動洗浄化、オストメイト用設備の設置)

4. 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展

① ICT等の利活用推進

○ 「Wakayama Workation Networks」(1月)

ワーケーションで和歌山に訪れる方・企業向けにサービスを提供される事業者・団体を「Wakayama Workation Networks」として募集開始。和歌山県ワーケーションホームページにて、それぞれの取組を紹介し、和歌山県内におけるワーケーション受入体制をPR

○ ワーケーション・リーダーズ・サミットの開催(10月)

白浜町において、ワーケーション先進企業や先駆者達が一堂に会し、講演やパネルディスカッション、体験会、ワークショップなど、様々なプログラムを提供するイベントを開催

○ 和歌山オンラインワーケーション(11月)

ワーケーションをオンラインで体験できるプログラムを実施。その中で、ワーケーションに関する講演やスポット、体験を配信することで、和歌山県でのワーケーションの魅力をPR

② データ利活用の促進

○ 第4回和歌山県データ利活用コンペティション最終審査会・表彰式(12月)

全国の高校生・大学生を対象としてデータを利活用した行政課題解決アイデアを募集するコンペティションの最終審査会・表彰式を実施

○ こども版出張！県政おはなし講座「統計っておもしろい！数字でみる和歌山」

データやグラフを通じて、児童・生徒の皆さんにふるさと和歌山を知っていただくとともに、統計に親しんでもらうために、小学生・中学生を対象とした出前授業を実施(小・中・団体で320名参加)

③ 国際化を踏まえた産業の新しい発展

○ MOU締結国(ベトナム・タイ・インド)のビジネス環境セミナー(9月)

MOU締結国のうち、ASEANの中でも特に関心の高いベトナム、タイ及びASEAN+1として注目されるインド・マハラシュトラ州を取り上げセミナーを開催(参加34人(オンライン含む))

④ 時代を先導する産業の発展

○ 宇宙シンポジウム in 串本(10月)

衛星工学の第一人者や宇宙ベンチャー企業、衛星データ利活用企業、民間ロケット企業の経営者等を講師に招き、宇宙ビジネスなどをテーマとしたシンポジウムを串本町で開催(約200人が参加、別途オンライン配信)

VII いのちを守る

1. 自然災害への備え

① 「災害による犠牲者ゼロ」の実現

○ 土砂災害防止法に基づく基礎調査の完了(3月)

土砂災害防止法に基づく基礎調査が完了
基礎調査実施箇所数: 21,879箇所

○ 防災・減災、国土強靱化対策を加速化

国が平成30年12月に取りまとめた「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」(総事業費概ね7兆円)を活用し、県の防災・減災、国土強靱化対策を加速化

○ 津波避難困難地域の解消

東海・東南海・南海3連動地震において4町22地区、南海トラフ巨大地震において12市町61地区と想定した避難困難地域を解消するための取組を推進(3連動地震で14地区、巨大地震で8地区が解消済み)

② 発災直後の迅速な救助体制と早期復旧体制の確保

○ 行政の災害対応力強化

・ 孤立集落通信訓練(1月)

大規模災害発生時に市町村と孤立集落間の情報伝達を円滑にするため、防災行政無線等の動作確認や操作方法の習熟を図る通信訓練を実施

・ 海草建設部新庁舎移転(7月)

災害時における現地対策機能を確保するため、南海トラフ巨大地震及び東海・東南海・南海3連動地震の津波浸水想定区域内に位置していた庁舎を区域外に移転

・ 物資輸送・災害情報収集伝達訓練(10月)

実際に広域防災拠点を開設して救援物資の受入等を行い、大規模災害時の対応の確認を行うとともに、職員の対応能力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的に訓練を実施

場所: 和歌山ビッグホエール他

参加機関: 防災協定締結企業、海草、有田、日高、那賀振興局管内市町

・ 「世界津波の日」地震・津波避難訓練(11月)

地震・津波に対する防災意識の高揚を図るため、県内全域を対象とする地震・津波避難訓練を「世界津波の日」に合わせて実施

参加者: 117,300名

○ 地域防災力の強化

・ 和歌山県自主防災組織情報連絡会情報交流会(1月)

大規模災害に備え、地域の防災活動の活性化を目的として、自主防災組織や地域のリーダーの方々などを対象に、和歌山県自主防災組織情報連絡会による「情報交流会」を開催

・ 地域防災リーダー育成講座「紀の国防災人づくり塾」(10月～12月)

自主防災組織や企業等で中心的な担い手となる地域防災リーダーを育成し、地域防災力の向上を図るため、防災に関する知識・技術を学ぶ講座を開催(90人が参加)

・ 「どこでもスタンド」の納入(12月)

大規模津波被害が発生した際に、中核給油所の代替設備となる移動式給油機「どこでもスタンド」を配置

設置場所: 有田総合庁舎、日高川町防災センター、東牟婁振興局串本建設部、旧グリーンピア南紀、東牟婁総合庁舎

○ より効果的な災害対策を講ずるための協定締結

- ・「災害時における電気自動車からの電力供給の協力に関する協定」の締結(2月)
災害が発生した際、避難所等への電力供給等に活用できる電気自動車等の貸与を受けるため、日産自動車(株)、日産プリンス和歌山販売(株)、和歌山日産自動車(株)と協定を締結
- ・既存ダムの洪水調節機能強化に向けた治水協定の締結(5月)
紀の川水系及び新宮川水系にある既存ダムの利水容量を活用して洪水調節機能の強化を図るため、事前放流について、河川管理者、ダム管理者および関係利水者間で治水協定を締結

2. 医療の充実と健康の維持

① 命を守る医療の充実

○ 和歌山県立医科大学附属病院 膝がんセンター「膝がんどック」を開設決定(12月)

初期の段階で発見するのが難しい膝がんの早期診断と治療成績の向上のため、膝がんセンターに「膝がんどック」を令和3年2月から開設

② 医療提供体制の再編・充実

○ 地域医療構想の推進

将来のあるべき適切な医療提供体制を示した「地域医療構想」の実現に向け、各医療圏域において、医療機関や医療団体等の関係者により構成される地域医療構想調整会議を開催

③ 医療人材の育成・確保

○ 宝塚医療大学和歌山保健医療学部が開学(4月)

県が誘致した宝塚医療大学和歌山保健医療学部が開学、第1期生となる新入生102人(うち県内生95人)が入学(理学療法と作業療法の2コース)

○ 和歌山県立医科大学薬学部の設置認可(10月)

文部科学大臣の設置認可を受け、和歌山県立医科大学薬学部の令和3年4月の開設が正式決定

○ 和歌山リハビリテーション専門職大学の設置認可(10月)

文部科学大臣の設置認可を受け、令和3年4月の開設が正式決定

○ 和歌山県立医科大学薬学部の建設工事が完了(12月)

9月に紀三井寺キャンパスの次世代医療研究センター(医薬看共同研究施設)、12月に伏虎キャンパス(和歌山市立伏虎中学校跡地)の薬学部校舎が完成(令和3年4月開設予定)

○ 地域偏在解消のための継続的な医師確保対策

へき地等の医師不足を解消するために「地域枠」設置を要件として時限的に認められている医学部臨時定員について、国に対して提言活動を実施した結果、令和3年度までとされていたところが1年間の延長が決定

○ 専門研修プログラム募集定員の確保

地域医療を堅持するために必要な専攻医を確保するため、専門研修プログラム募集定員に係るシーリングを見直すよう国に対し提言した結果、県民医療枠をシーリング枠外で採用できる取扱いに変更することが決定

④ 健康づくりの推進

○ 特別展示「みんなで守ろう～いのちとところ～」(2月)

自殺対策強化月間(3月)における障害福祉課の取組と連携し、自殺に関連のある資料約140冊を展示・貸出

3. 安全な社会の実現

① 治安・交通安全の向上

○ 交通安全運動の実施

交通安全運動推進要綱に基づき、各季の交通安全運動を展開
推進重点:「飲酒運転の根絶」、「横断歩道における歩行者優先の徹底」

VIII くらしやすさを高める

1. 快適な生活環境の実現

① 良好な生活空間づくり

○ 第19回わかやま環境賞(6月)

環境保全活動に優れた功績のあった5団体を表彰し、その活動事例を広く県民に紹介することにより、県民の環境保全に関する意識の向上と自主的な取組を促進(令和2年度は表彰式を開催せず)

② 循環型社会の構築

○ ごみの散乱防止に関する条例の施行(4月)

教育・啓発や取り締まりを行い、廃棄物の再利用推進とごみをみだりに捨てることのないよう条例を施行

○ クリーンアップ運動～スポGOMI大会～(8月、10月)

スポーツの要素を取り入れたゴミ拾い「スポGOMI大会」を開催
田辺市:25チーム、96人 和歌山市:41チーム、176人

○ わかやまごみゼロ活動認定書手交(9月、10月)

わかやまごみゼロ活動として初めて認定した3団体に認定証を手交
笑好会、アロチ活性化委員会、和歌山アースデイ委員会

○ 環境監視員パトロール出発式(10月)

和歌山県ごみの散乱防止に関する条例に規定する罰則規定が10月1日から施行されることに伴い、環境監視員のパトロール出発式及び条例啓発を含めたパトロールを実施

○ わかやまごみゼロ活動ロゴマーク決定(10月)

わかやまごみゼロ活動を応援するロゴマークを決定

③ 地球温暖化対策の推進

○ 海洋再生可能エネルギー(洋上風力発電)フォーラム(2月)

地域における洋上風力発電の理解の促進と導入に向けた機運醸成を図るとともに、ゾーニングの結果や取組を周知するため、洋上風力発電に関するフォーラムを開催(参加者70人)

2. 支え合う福祉の充実

① 高齢者福祉の推進

○ 介護予防のための自宅でできる「わかやまシニアエクササイズ」の動画を作成(5月)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う運動不足や体力低下を防ぐため、「わかやまシニアエクササイズ」をアレンジし、高齢者が自宅でできる介護予防の動画を作成

○ 特別養護老人ホームなどの着実な整備

施設への入所を望む高齢者のために必要となる特別養護老人ホームなどの施設を2030年までに約16,600床整備する計画を着実に実行

○ 自立支援型ケアマネジメントの推進

介護の必要度が低い軽度の方を対象に、自立につながる適切なケアプランを検討するための「地域ケア個別会議」に取り組む市町村を支援(28市町村で実施)

② 障害者福祉の推進

○ 第18回紀の国チャレンジド賞及び紀の国チャレンジド・サポート感謝状授与式(12月)

障害を克服し、生き生きとした社会生活を送っている人に対する知事表彰状及び障害のある人の活動を支えている人に対する知事感謝状の授与式を挙行

③ 困難を抱える家庭等へのきめ細やかな対応と自立支援

○ 和歌山県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定(4月)

総合的かつ計画的なギャンブル等依存症対策を推進していくため、本県の実情に即した和歌山県版のギャンブル等依存症対策推進計画を策定

○ 和歌山県犯罪被害者等支援基本計画の策定(4月)

犯罪被害者等の方へ「途切れることのない支援」を推進するため、和歌山県犯罪被害者等支援条例に基づき、「和歌山県犯罪被害者等支援基本計画」を策定

○ ストップ！スマホゲーム依存

家庭でのルールづくりの促進、自己チェックシートによる指導、リーフレットを活用した依存症予防教育を展開

④ 福祉人材の育成・確保

○ 介護ロボット等導入支援(7月)

介護従事者の離職率の低減を図るため、業務効率化や職場環境の改善につながる介護ロボット等の導入を支援(61事業所)

Ⅸ 地域を創る

1. 活力と魅力のあるまちづくり

① 和歌山が誇る豊かな自然の継承

○ 大塔山県立自然公園の指定(5月)

大塔山を主峰とする山岳地帯(田辺市、新宮市、古座川町)9,968ヘクタールを県立自然公園に指定

○ 南紀熊野ジオパークセンターで100校を超える修学旅行の受入

新型コロナウイルス感染症の影響で、県内学校の修学旅行先が県内へシフトする動きをとらえ、当センターへの来訪を働きかけた結果、県内外100校を超える学校が来訪
令和2年12月末時点の実績 108校(県内104校、県外4校) 4,127名

② 和歌山が誇る文化遺産や景観の保存・保全と活用

○ 文化財の指定

1月:ブドウハゼの原木を県指定文化財に新規指定、3月:安宅氏城館跡が国史跡に新規指定、4月:橋本太次兵衛家住宅(新座敷、旧米穀集荷事務所、土塀)が国登録有形文化財(建造物)に新規登録、8月:和歌山県建築士会館、北山家住宅主屋、旧チャップマン邸(主屋、石段及び石垣)が国登録有形文化財(建造物)に新規登録、10月:史跡「和歌山城」の一部地点が国史跡に追加指定

○ 秋期特別展「埴輪が語る古墳の祀り」(10月)

県立紀伊風土記の丘において、岩橋千塚古墳群の埴輪群などを紹介し、紀伊の人々が古墳で執り行った葬送儀礼について考える特別展を開催

○ 根来寺遺跡展示施設グランドオープン記念式典(11月)

発掘された半地下式倉庫や階段遺構を高精細レプリカによってリアルに復元し、中世根来寺の往事の姿を現在に伝える「根来寺遺跡展示施設」の整備が完成し、グランドオープン記念式典を開催

○ 高野参詣道(黒河道)特定景観形成地域の指定(12月)

橋本市及び九度山町内の「黒河道」が世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録(H28.10)されたことを受け、「黒河道」及びその周辺を特定景観形成地域に指定

③ 個性豊かで暮らしやすい中山間地域づくり

○ 公募型移住者選抜会(8月、11月)

各地域(市町村)が求める人材を公募し、参加者からスカウトする選抜会をオンラインで開催。参加18団体(市町村、事業所等)のうち9団体がスカウトに成功(参加者30人うち22人をスカウト)

○ ワカヤマライフTV(9月)

和歌山県ならではの移住者の受入体制及び多様なライフスタイルをPRし、移住潜在層の掘り起こしを主眼としたイベントをオンラインで開催(390人が視聴)

○ 半島振興対策促進大会(11月)

全国の半島関係者が一堂に会し、関係国会議員や関係省庁に対して、半島地域の自立的発展を図るための支援を求めることを目的に大会を開催(204人が参加)

○ わがまち元気プロジェクト

地域固有の資源を活用し、個性豊かで活力ある地域づくりに取り組む市町村を3年間にわたり支援(令和2年度支援プロジェクト:濱口梧陵生誕200年～梧陵さんと広川町の魅力再発見～、紀州漆器を活用した黒江ブランドの構築、活気あふれる「箕島漁港」、幻の古道と神秘的な地「龍の里」づくり、～絶景と歴史とリゾートと～ようこそ和歌山市)

○ わかやま版「過疎集落支援総合対策」

住民生活の一体性を重視したふるさと生活圏を対象に、日常生活機能の確保や地域活性化を総合的に取り組む活動を支援(令和2年度に事業中の実施生活圏:古座川町七川生活圏、かつらぎ町花園生活圏、有田川町粟生生活圏、橋本市嵯峨谷生活圏)

2. 地域をつなぐネットワーク

① 交通ネットワークのさらなる充実

○ 一般県道山内恋野線【恋野橋】の供用(3月)

恋野橋は、幅員狭小のため大型車同士のすれ違いが困難で、また昭和29年に架設され約65年が経過し老朽化が進んでいたが、今回の供用により、円滑な交通や歩行者等の安全が確保されるとともに、地域間交通・日常生活の利便性の向上や観光振興に寄与

○ 都市計画道路西脇山口線【川永工区】の供用(3月)

川永工区の供用により、都市計画道路西脇山口線(和歌山市磯ノ浦～和歌山市里、延長約16.8km)が全線開通。並行する現道の粉河加太線や国道24号など周辺道路の渋滞緩和が図られるとともに、歩行者の通行の安全性が向上

○ 阪和自動車道「印南IC～みなべIC」4車線化の事業許可(3月)

国土交通省から阪和自動車道「印南IC～みなべIC」4車線化の事業許可を受けたことを西日本高速道路株式会社が発表

○ 国道168号五條新宮道路新規事業化(3月)

一般国道168号五條新宮道路(相須工区)が新規補助事業として採択(延長:6.4km、事業区間:新宮市熊野川町日足～新宮市熊野川町東敷屋)

○ 一般国道42号串本太地道路用地幅杭設置式(9月)

一般国道42号串本太地道路の用地幅杭設置式を近畿地方整備局等と共同開催

○ 南紀白浜空港展望広場(空港公園)内市施設整備に関する民間提案募集(10月)

紀南地方におけるワーケーションや企業誘致の推進、南紀白浜空港の機能強化と利用者の利便性向上を図るため、県有地の南紀白浜空港展望広場(空港公園)内における施設整備を官民連携で実施する民間提案を募集

○ 近畿自動車道紀勢線建設促進協議会促進大会(11月)

紀伊半島一周高速道路の早期実現に向け、近畿自動車道紀勢線の建設促進大会を三重県と共同開催

○平成18年12月以降の本県への企業立地動向

	企業名	立地場所
1	アイコム(株)	紀の川市
2	(株)NTN	上富田町
3	(株)松源	和歌山市
4	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
5	アトラック(株)	橋本市
6	エアウォーター(株)	和歌山市
7	本州化学工業(株)	和歌山市
8	剤盛堂薬品(株)	和歌山市
9	恵和(株)	印南町
10	(株)タカショー	海南市
11	原田織物(株)	橋本市
12	(株)スミロン	日高川町
13	(株)オークワ	和歌山市
14	(株)ユアブレインズ	和歌山市
15	ビーウィズ(株)	和歌山市
16	恵和(株)	御坊市
17	大輪産業(株)	橋本市
18	(株)アルバック	橋本市
19	亀宝倉庫(株)	和歌山市
20	(株)NMソルト	和歌山市
21	南海化学(株)	和歌山市
22	ミナベ化工(株)	みなべ町
23	パナソニック(株)A I S社	紀の川市
24	辻岡運輸(株)	和歌山市
25	新日鐵住金(株)	和歌山市
26		和歌山市
27	和興建産(株)	和歌山市
28	太陽食品(株)	和歌山市
29	極東化成工業(株)	岩出市
30	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
31	関戸運輸(株)	和歌山市
32	アドバン工業(株)	和歌山市
33	(有)久保田エンジニア	紀の川市
34	(株)ホタニ	紀の川市
35	(株)エスアールアイ	海南市
36	ペトロマテリアル(株)	和歌山市
37	東京製綱(株)	和歌山市
38	(株)マルテン天満屋	日高川町
39	(株)コズミックランド	白浜町
40	大阪富士工業(株)	和歌山市

	企業名	立地場所
41	笠野興産(株)	和歌山市
42	(有)コバタ総合研究所	橋本市
43	田辺金属工業(株)	田辺市
44	朝日オリコミ和歌山	和歌山市
45	(株)中井鉄工所	橋本市
46	(株)しんこう技研	紀の川市
47	旭精機(株)	橋本市
48	(株)NMソルト	和歌山市
49	木本産業(株)	有田市
50	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
51	太洋工業(株)	和歌山市
52	住友精密工業(株)	和歌山市
53	花王(株)	和歌山市
54	エアウォーター(株)	和歌山市
55	南海化学工業(株)	和歌山市
56	(株)三晃精密	橋本市
57	(株)ふみこ農園	有田市
58	(株)テクノ・アシスト	紀の川市
59	棒引製材	みなべ町
60	白光印刷	和歌山市
61	林化成(株)	橋本市
62	(株)見果てぬ夢	田辺市
63	大日本除虫菊(株)	海南市
64	共同印刷(株)	有田川町
65	花王(株)※研究施設	和歌山市
66	紀和化学工業(株)	紀の川市
67	三菱電機(株)	和歌山市
68	日建産業(株)	御坊市
69	豊国金属工業(株)	橋本市
70	ミナベ化工(株)	みなべ町
71	(株)ニッコク	岩出市
72	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
73	(株)九重雑賀	紀の川市
74	(株)丸徳水産	和歌山市
75	ハグルマ(株)	紀の川市
76	藤本製菓(株)	御坊市
77	北広ケミカル(株)	橋本市
78	ヤマトコンタクトサービス(株)	和歌山市
79	日進化学(株)	橋本市
80	スターゼン西日本販売(株)	和歌山市

	企業名	立地場所
81	(有)日本鮪養殖	那智勝浦町
82	(株)串本マリンファーム	串本町
83	南紀串本水産(株)	串本町
84	東京製綱(株)	和歌山市
85	川口水産(株)	有田市
86	和歌山ガーデンクリエイト(株)	海南市
87	(株)ケー・ワイ・ビー	紀の川市
88	(株)イブバイオサイエンス	橋本市
89	中紀精機(株)	御坊市
90	(株)エス・ティー・ワールド	和歌山市
91	(株)赤井工作所	岩出市
92	(株)ユニカル	橋本市
93	クックスベスト(株)	那智勝浦町
94	(株)ゼネラルステッカー	田辺市
95	ナイス(株)	和歌山市
96	松林金属(株)	橋本市
97	(株)インテリックス	和歌山市
98	中部抵抗器(株)	紀の川市
99	富士香料化工(株)	橋本市
100	岡村製油(株)	橋本市
101	理工協産(株)	橋本市
102	(株)たにぐち	日高川町
103	川本化成(株)	和歌山市
104	(株)玉林園	和歌山市
105	(株)丸阪	橋本市
106	藤本食品(株)	岩出市
107	小川工業(株)	橋本市
108	北辰精工(株)	橋本市
109	(株)フューチュレック	海南市
110	(株)河鶴	みなべ町
111	橘電装工業(株)	和歌山市
112	(株)紀山	紀の川市
113	紀南パンジー(株)	上富田町
114	菱岡工業(株)	和歌山市
115	EH製菓(株)	田辺市
116	(株)エムジェイテック	橋本市
117	中辻産業(株)	橋本市
118	真和テック(株)	橋本市
119	ナカザワ建販(株)	紀の川市
120	(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング	和歌山市

	企業名	立地場所
121	(株)山登化学	橋本市
122	大和歯車製作(株)	日高川町
123	南海スチール(株)	和歌山市
124	(株)九重雑賀	紀の川市
125	(株)竹中商店	田辺市
126	(株)プリントテクニカ	橋本市
127	メディスト(株)	白浜町
128	(株)興栄ケミカル工業所	橋本市
129	(株)早和果樹園	有田市
130	(株)インテリックス	和歌山市
131	中紀精機(株)	印南町
132	笠野興産(株)	和歌山市
133	太陽シールパック(株)	和歌山市
134	(株)ポタジエ	紀の川市
135	(株)サンコー	海南市
136	尾高ゴム工業(株)	紀の川市
137	(株)セールスフォース・ドットコム	白浜町
138	(株)梅丹本舗	紀の川市
139	ライオンケミカル(株)	和歌山市
140	旭精機(株)	橋本市
141	(株)西日本建設物流	和歌山市
142	和歌山太陽誘電(株)	印南町
143	日本遠隔制御(株)	橋本市
144	クオリティ(株)	白浜町
145	毎日マーク(株)	橋本市
146	光栄ピーナッツ(株)	橋本市
147	デュプロ精工(株)	紀の川市
148	前田ローブ工業(株)	海南市
149	(株)食緑	新宮市
150	(株)寿精密	かつらぎ町
151	(株)サンオー	和歌山市
152	北広ケミカル(株)	紀の川市
153	澤田酒造(株)	橋本市
154	(株)菖蒲谷	湯浅町
155	ナギサビール(株)	白浜町
156	(株)インテリックス	和歌山市
157	NECソリューションイノベータ(株)	白浜町
158	(株)TREE	白浜町
159	日進化学(株)	橋本市
160	(株)玉林園	和歌山市

	企業名	立地場所
161	小西化学工業(株)	和歌山市
162	(株)八代	橋本市
163	原田織物(株)	橋本市
164	小川工業(株)	橋本市
165	紀州技研工業(株)	和歌山市
166	日進香料(株)	橋本市
167	(株)モリカワ	田辺市
168	幕末(株)	御坊市
169	オーアイテック(株)	紀の川市
170	(株)ぼん家具	和歌山市
171	(株)9Times	橋本市
172	田村薬品工業(株)	橋本市
173	日本シール(株)	橋本市
174	(株)コテック	橋本市
175	津田工業(株)	紀の川市
176	(株)早和果樹園	有田市
177	(株)ブイキューブ	白浜町
178	(有)島本化繊起毛工場	和歌山市
179	キタヤマトーヨー住器(株)	和歌山市
180	(株)佐原工業所	橋本市
181	(株)嶋治水産	有田市
182	ワイオー・ラボ(株)	湯浅町
183	(株)海南精密	海南市
184	アドバン工業(株)	和歌山市
185	西川製作所	和歌山市
186	久保田工業(株)	和歌山市
187	(有)プラ和歌山	印南町
188	ワコー(株)	海南市
189	(株)平和エンジニアリング	紀の川市
190	(株)東研サーモテック	橋本市
191	紀州ファスナー工業(株)	御坊市
192	セイカ(株)	和歌山市
193	(株)松源	岩出市
194	(株)NTN	橋本市
195	(株)subLime	白浜町
196	日進香料(株)	橋本市
197	(株)アクトプロ	和歌山市
198	三菱地所(株)	白浜町
199	(株)ウフル	白浜町
200	紀陽除虫菊(株)	海南市

	企業名	立地場所
201	(株)たにぐち	日高川町
202	(株)NTN紀南製作所	上富田町
203	ハバジツ日本(株)	紀の川市
204	(株)赤井工作所	岩出市
205	(株)Ultimate Life	田辺市
206	(株)クリアネット	田辺市
207	スターティア(株)	和歌山市
208	大和歯車製作所(株)	日高川町
209	(株)東紀繊維	岩出市
210	(株)共立物流システム	紀の川市
211	(株)西沢木材店	和歌山市
212	高砂建材工業(株)	和歌山市
213	(株)アイセン	海南市
214	(有)畑野化成	和歌山市
215	(株)共栄テクシード	紀の川市
216	大日本除虫菊(株)	海南市
217	エンザントレイズ(株)	田辺市
218	(株)BizPlatform	和歌山市
219	(株)興栄ケミカル	橋本市
220	南海スチール(株)	和歌山市
221	友信化学(株)	和歌山市
222	ライオンケミカル(株)	有田市、有田川町
223	協和プレス	和歌山市
224	(株)京都プラザホテルズ	白浜町
225	(株)オーエ	海南市
226	(株)小松原	和歌山市
227	(株)トランスコスモス	和歌山市
228	(株)農業総合研究所	和歌山市
229	新中村化学工業(株)	和歌山市
230	デュプロ精工(株)	紀の川市
231	貴志川工業(株)	紀の川市
232	ヤツイ(株)	海南市
233	和歌山ノーキョー食品工業	海南市
234	ジェイテック(株)	和歌山市
235	(株)Office Concierge	白浜町
236	(株)カベキチ	橋本市
237	(株)LINK-U	和歌山市
238	(株)SAKURAG	白浜町

※太線枠内は、令和2年立地企業